

Install FAX Service

ES-89Light 配線する信号は (L) 表示です。

平成14年 1月18日 作成
平成19年 9月 1日 更新

BOX No.111006

車両情報	日産 スカイライン	平成13年6月~	V35系	ES-89Light Type N.L. Opt. ドアロックリレーNLⅢ (EP070)
	スカイラインクーペ	平成15年1月~	CPV35系 1/2ページ	
	ステージア	平成13年10月~	M35系	

① 白色のカバーを外して作業

左サイドの上側
白色46Pカブラ

L端子(茶)
白/赤

スカイライン
クーペ以外

スカイライン
クーペのみ

L端子(茶)
白/赤

A/T車設定が必要な行 ↓ のみ

(A/T車設定作業について)
配線・受信機取り付け終了後、
下記の手順で設定を行って
ください。

- ① 車両のキースイッチをONにする。
- ② リモコンでSTOPを押す。
- ③ 車両のA/TシフトレバーをRレンジに動かし、受信機のアラーム音が変わった後(約3秒後)Pレンジに戻す。
- ④ 車両のキースイッチをOFFにしてキーを抜く。
- ⑤ 設定完了。

※設定作業をしないと、エンジンスタートでエンジンがかかりません。

配線内容(受信機CN2緑色)
車両配線色

① オートライト機能付き車は、エンジンスタートCN2のオートライト配線は必要ありません。(キーでIGをOFFすると、ヘッドライトが消灯するため)

① グローブBOX周辺の外し方
① 助手席ロアカバーを外す。(クリップのみ)
② グローブBOXを外す。(ネジ6本)

キーシリンダ直付け

スカイライン	H13.6~15.1まで	H15.1~
スカイラインクーペ	-	H15.1~
ステージア	H13.10~15.4まで	H15.4~
専用ハーネス	N104	N108

VN108 (V)

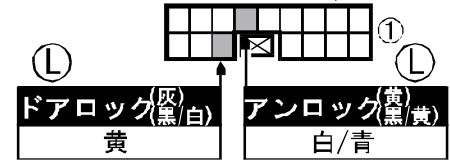
① IBLightは、ドアロックリレーNo.001/NLR (EP028)が必要です。取り付けは、BOX No.200001を参照。

① イモビ対応ユニットの取り付け(イモビライザー装着車のみ)については、2/2ページを参照してください。

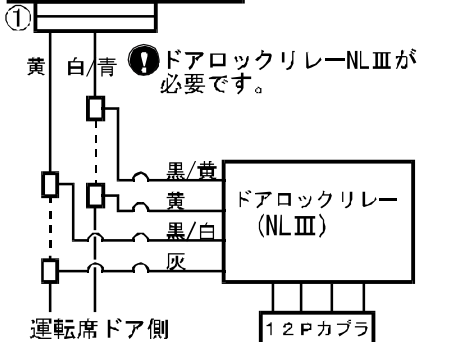
ドアロック・アンロック

- ① ステージア...~平成16年8月まで
- ① その他...~平成16年11月まで

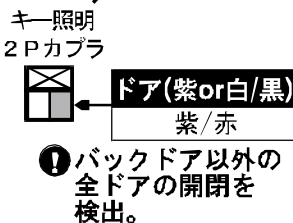
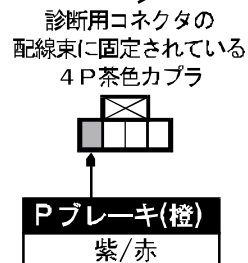
右サイドカバー内
ヒューズBOX下側のC/U (BCM)
16P白色カブラ



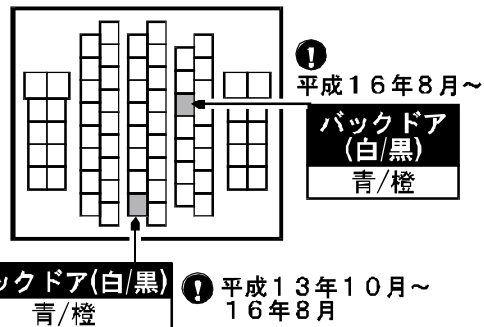
車両
コントロールユニット



---部は車両配線をカットする
ESR-89Lightへ



① バックドア以外の全ドアの開閉を検出。

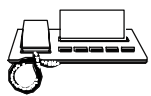


① 平成13年10月~16年8月

① ステージアのみ、バックドアの開検出を行う場合に配線する。ドア検出ユニット(別売)が必要です。

① この資料は、当社に於いて見取りを実施した車両をもとに作成してあります。年式、グレード等によって違いが生じる場合がありますのでご注意ください。





Install FAX Service

ES-89Light 配線する信号は (L) 表示です。

平成14年 1月18日 作成
平成19年 9月 1日 更新

BOX No.111006

車両情報	日産 スカイライン	平成13年6月～	V35系	ES-89Light	Type N.L.	
	スカイラインクーペ	平成15年1月～	CPV35系			2/2ページ
	ステージア	平成13年10月～	M35系			
Opt. ドアロックリレーNLⅢ (EP070)						

① 注意事項

- エンジンイモビライザーシステムが装着されている車両は、エンジンスターターは、イモビライザー対応モデル（受信機に4極コネクタが付いているモデル）のみ取り付けできます。
- 取り付けの際は、N-1イモビ対応ユニット（EP089）を使用します。
- 詳細は、イモビ対応ユニットの取付説明書を参照してください。

① 警告

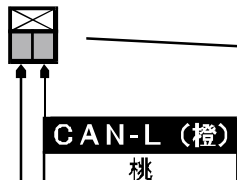
- CAN-L、及びCAN-Hを診断コネクタの配線に接続する際は、確実に間違いの無いように作業を行ってください。
- 接続を間違えると、車両に重大な影響を及ぼす場合があります。

① IBLightは、ドアロックリレーNo.001/NLR (EP028)が必要です。
取り付けは、BOX No.200001を参照。

① ステージア…平成16年8月～

① その他…平成16年11月～

車両ハーネスにテーピングされている空きカプラ (2P白色)



① イモビ対応ユニットの橙色線を接続する。

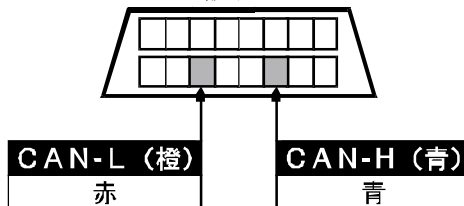


① イモビ対応ユニットの青色線を接続する。

① ステージア…～平成16年8月まで

① その他…～平成16年11月まで

16P診断コネクタ



① イモビ対応ユニットの橙色線を接続する。

① イモビ対応ユニットの青色線を接続する。

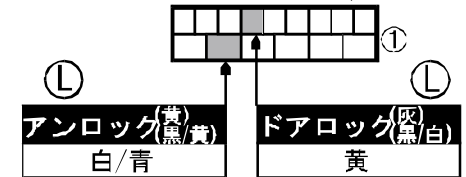
配線内容(受信機CN2線色)
車両配線色

ドアロック・アンロック

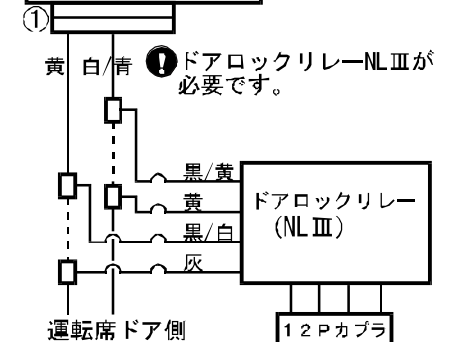
① ステージア…平成16年8月～

① その他…平成16年11月～

右サイドカバー内
ヒューズBOX下側のC/U (BCM)
15P白色カプラ



車両
コントロールユニット



---部は車両配線を
カットする

Light CN2へ

車種別専用ハーネスについての注意事項

共通追補版

平成19年 9月 1日

ES-89ProLight IIの盗難発生警報装置に関する注意事項

■ES-89ProLight II (ESL24) を取り付けする場合

①初年度登録が2006年(平成18年)7月以降の車両は、必ずヒューズ(25A)付きの専用ハーネス(VAS対応品)で取り付けをしてください。



❗ 車種別取付資料では、ヒューズ付き専用ハーネス(VAS対応品)を、左記のように記載しています。

VAS対応品の専用ハーネスは、頭文字がVで始まり、(V)の表示をしてあります。

左記の場合、VN108がVAS対応品です。

②初年度登録が2006年(平成18年)6月以前の車両に取り付けする場合、専用ハーネスはどちらを使用しても問題ありません。

■ES-89ProLight II (ESL24) 以外のエンジンスターターを取り付けする場合

※初年度登録年月に関係なく、専用ハーネスはどちらを使用しても問題ありません。

但し、旧型モデル(オートマチック車の認識設定を行わずに取り付けするモデル)については、旧型専用のハーネスを使用する場合がありますので、販売店にお問い合わせください。

ES-89ProLight IIの盗難発生警報装置に関する注意事項

ES-89ProLight IIは、盗難発生警報装置付きのエンジンスターターです。

このモデルは、平成18年7月より施行された道路運送車両法、盗難発生警報装置技術基準(新保安基準)に適合しており、全国自動車用品工業会(JAAMA)の盗難発生警報装置自主基準(VAS)を取得した製品です。

平成18年7月より運用を開始した新保安基準を遵守するため、取り付け等にあたっては注意が必要です。(以下を確認してください)

①初年度登録が2006年(平成18年)7月以降の車両は、新保安基準に該当します。

❗ 該当車両への取り付けは、ヒューズ付き専用ハーネス(VAS対応品)の使用が必須となります。

②盗難発生警報装置(機能)を使用する場合、全てのドア(バックドア等も含む)開検知が必要です。

❗ 該当車両は、全ドアの開検知ができるように、車種別取付資料を参照して取り付けをしてください。車両により、ドア検出ユニット(別売)が必要になります。

③登録証(全国自動車用品工業会自主基準登録証)は、必ずお客様にお渡しく下さい。

❗ 製品に付属の登録証は、取り付けされた車両の車検実施時に、製品が盗難発生警報装置技術基準に適合したものであることを証明するためのものです。必要事項をご記入の上、必ずお客様にお渡しく下さい。

なお、登録証があっても不適切な取り付け状態が確認された場合、車検時に不合格となることがあります。